

第3章 省エネルギー活動計画を立てましょう



省エネルギー活動に取り組んでいくためには、調査した現状活動をもとに、どんな改善を図っていくか具体的な活動内容と目標を掲げていく必要があります。

1 省エネ検討会を設置しましょう

各部署の代表による省エネルギー検討会を設置しましょう。設備機器の運転管理を業者に委託している場合には、委託業者にも参加してもらいましょう。どういう燃料をどのくらい減らすという具体的な目標を明確にし、そのために必要な省エネルギー活動を決めましょう。

2 達成すべき目標を決めましょう

(1) 削減する項目を決める

- ・現状活動の確認結果から「使用量が多いものは何か」「経費負担が大きいものは何か」などを確認します。
- ・確認した中から削減する項目を選べば、大きな効果が期待できますが、「取り組みやすい」とか「全従業員が取り組める」、「無駄をなくす」などの視点から項目を決めても構いません。

(2) 項目毎に削減目標を決める

- ・削減目標は目標期間と目標数値で設定します。
- ・目標期間は、1年から3年程度の短期間に設定します。
- ・目標数値は、最初から根拠のある数値を設定することは難しいので、方針的な目標数値を設定しても構いません。また、数値を設定せず、「〇〇の燃料使用量を減らす」などとしても構いません。

目標を決める際のポイント

- ・具体的でわかりやすい
- ・みんなで取り組むようにして一人だけががんばる目標にしない
- ・誰がみても達成不可能な高すぎる目標にしない

削減目標の設定例

- ・何をいつまでにどれだけ減らすかを具体的に示す

「事業所の電気使用量を2013年度において2010年度に比べ、5%削減する」

(5%削減すると、年間で約〇〇万円のコスト削減になります)

「自動車の燃料使用量を1年間で10%削減する」

(10%削減すると年間で約〇〇万円のコスト削減になります)

- ・目標数値を設定しない場合は何をどうするかを示す

「事務所の電気使用量を削減する」

3 具体的な取り組み内容を決めましょう

最初から多くの取り組みを決める必要はありません。次のような点を考慮し、決めていきましょう。

- ・取り組みやすいものは何か
- ・使用をやめることができるものはないか
- ・時間を制限できるものがないか
- ・減らせるものはないか
- ・何が効果的か
- ・全員で取り組むことができるものは何か など

【具体的な取り組み参考例】

照明・空調等の省エネルギーの工夫

- ・昼休み時は不要な照明を消す
- ・日中は窓側の照明を消す
- ・残業時は必要最小限のスペースのみ点灯する
- ・照明器具の配置等を見直し、無駄な照明をなくす
- ・クールビズ、ウォームビズ
- ・冷暖房の温度を適正に設定する (例 冷房28℃、暖房19℃)
- ・冷暖房機器の稼働時期を定める (例 冷房期間6月～9月)
- ・カーテンやブラインドを上手に利用し、冷暖房効果を高める
- ・OA機器は、長時間使用しないとき電源を切る
- ・複写機、パソコン等のOA機器はエネルギー消費の少ない製品を使用する
- ・最寄りの階は階段を利用する
- ・インバーター照明やLEDなど効率的な照明を導入する



社有車のエコドライブ

- ・近距離は自転車を利用するなど自動車の使用を控える
 - ・アイドリングストップに努める
 - ・急発進、急加速、空ふかしを控える
 - ・経済速度で走る
 - ・タイヤの空気圧を適正に保つなどこまめに車の点検整備を行う
- ※営業日報や社有車使用届等に記録をつけて報告させると効果的です。



製造工程の管理の強化など

- ・機械設備等の点検、掃除を定期的に行い、適正運転を維持する
- ・機械設備などは必要がなければ主電源を切る
- ・ボイラーの熱損失を防止する
 - 蒸気配管設備等を断熱、保温する
 - スチームトラップの不良を管理する
- ・受変電設備の無負荷運転時の電力損失を防止する
 - 無負荷時に変圧器を停止する
- ・圧縮機の電力損失を防止する
 - 吸い込み側フィルター等の目詰まりを防止する

省エネルギー活動計画例

【例1】

削減目標「事業所の電力使用量を2013年度において
2010年度に比べて5%削減する」
(5%削減すると、年間で〇〇万円のコスト削減になります)

取り組み内容

- ・冷房温度を28℃、暖房温度を19℃に設定する
- ・昼休み時は不要な照明を消す
- ・OA機器や作業機器は使用しないとき電源を切る など

【例2】

削減目標「自動車の燃料使用量を1年間で10%削減する」
(10%削減すると、年間で〇〇万円のコスト削減になります)

取り組み内容

- ・アイドリングストップに努める
- ・急発進、急加速、空ふかしを控える
- ・こまめに車の点検整備を行う など

エコドライブ10のすすめ

まずは無理なくできる、自分にあったエコドライブからはじめてみましょう！

<p>1 ふんわりアクセル『eスタート』 「やさしい発進を心がけましょう。」</p> <p>普通の発進より少し緩やかに発進するだけで 11%程度燃費が改善します (最初の5秒で20km/hが目安)</p>	<p>6 暖機運転は適切に 「エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。」</p> <p>現在販売されているガソリン乗用車においては暖機は不要です 5分間暖機すると 160cc程度の燃料を浪費します</p>
<p>2 加減速の少ない運転 「車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。」</p> <p>車間距離を詰めたり、速度にムラのある運転をすると市街地で 2%程度、郊外で 6%程度燃費が悪化します</p>	<p>7 道路交通情報の活用 「出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう。」</p> <p>1時間のドライブで、道に迷って10分余計に走行すると、14%程度の燃費悪化に相当します</p> 
<p>3 早めのアクセルオフ 「エンジンブレーキを積極的に使しましょう。」</p> <p>エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止されるので、2%程度燃費が改善します</p>	<p>8 タイヤの空気圧をこまめにチェック 「タイヤの空気圧を適正に保つなど確実な点検・整備を実施しましょう。」</p> <p>タイヤの空気圧が適正值より50kPa不足した場合、市街地で 2%程度、郊外で 4%程度燃費が悪化します</p>
<p>4 エアコンの使用を控えめに 「車内を冷やし過ぎないようにしましょう。」</p> <p>外気温25℃の時にエアコンを使用すると 12%程度燃費が悪化します 気象条件に応じこまめに温度風量を調整しましょう</p>	<p>9 不要な荷物は積まずに走行 「不要な荷物を積まないようにしましょう。」</p> <p>車の燃費は荷物の重さに敏感で、100kgの不要な荷物を載せて走ると 3%程度燃費が悪化します</p>
<p>5 アイドリングストップ 「無用なアイドリングをやめましょう。」</p> <p>10分間のアイドリングで 130cc程度の燃料を浪費します (ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合)</p> 	<p>10 駐車場所に注意 「渋滞などをまねくことから違法駐車はやめましょう。」</p> <p>交通の妨げになる場所での駐車は渋滞をもたらし、平均車速が時速40kmから時速20kmに落ちると、31%程度燃費が悪化します</p>

出典「地球と財布にやさしいエコドライブを始めよう！」(エコドライブ普及連絡会)

ReCoo会員募集

ReCoo(レクー)とは、「CO₂を削減する(Reduce CO₂)」という意味を込めた言葉で、エコドライブ普及連絡会(警察庁・経済産業省・国土交通省・環境省)が推進しています。

ReCooはエコドライブに興味のある方、実践する方を応援するサイトです。

さあ、あなたもいますぐメンバーに！(登録無料)

アクセスはこちらから→ <http://www.recoo.jp>